

令和 8 年度第 1 回萩警察署協議会会議録

開催日時		令和 8 年 7 月 8 日（水） 午後 3 時 3 0 分から午後 5 時 0 0 分までの間
開催場所		萩警察署 3 階 講堂
出席者	委員	棕木委員、大田委員、山本委員、柳林委員、山中委員、 末若委員、矢田委員、中村委員、瓜生委員、藤井委員 計 1 0 名
	警察	署長、副署長、会計主幹、警務課長、生活安全課長、 地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長 計 9 名
議題		1 所管業務説明 2 「特殊詐欺被害防止対策」
1 会長挨拶 本日、梅雨が明けたと昼のニュースで放送されていた。例年よりずいぶん早い梅雨明けであり、これからかなり熱くなるが、みなさん体調を崩さぬよう気を付けて生活していただきたい。本日は、今年度第 1 回目の協議会ということで協議会委員 1 0 名全員が揃っており、いろんな形で意見が出ると思うのでどうぞよろしくお願いする。萩警察署員の皆様においては、萩市・阿武町の安全安心にご尽力を賜り、本当に感謝申し上げます。この度、新たに署長をはじめ数名の課長が萩に赴任されているが、ようこそ萩にいらっしゃったと申し上げたい。萩は静かな町であり、萩市民・阿武町民のために頑張っていたきたい。 今年度初めに嬉しい事が 2 点あった。1 点目は、萩免許センターのオープンである。これまで免許更新に際し、更新手続きと免許の受け取りの 2 回警察署を訪問していたが、これが 1 回で済むようになったので大変スムーズな免許更新ができる。それに日曜日にも更新手続きができるとともに予約制のため待ち時間が少なくなるな		

ど大変便利になった。２点目は福井地区と紫福地区を管轄する福井駐在所がオープンしたことである。ここが新たな安心安全の拠点となればと期待している。

本日の諮問事項は、「特殊詐欺」ということで、件数も被害額も毎年増加をしており、なかなか効果的な対策がない。今回、うそ電話詐欺から特殊詐欺に呼び名が変わり、少し呼びやすくなったように感じる。各協議委員においては、年代や地域性などを踏まえた提言をよろしくお願いします。

２ 署長挨拶

(省略)

３ 所管業務説明（署長）

(１) 生活安全関係

- 詐欺被害状況、人身安全対策状況

(２) 刑事関係

- 刑法犯認知状況

(３) 交通関係

- 交通事故発生状況

４ 諮問事項説明（生活安全課長）

「特殊詐欺被害防止対策」をパワーポイントにより説明

５ 協議・検討

(委員)

特殊詐欺の被害は、高齢者だけでなく、若者まで被害に遭っていると知り、怖いなと感じた。警察庁推奨アプリの推奨に関しての提言であるが、これを推奨していくためには、携帯会社との協力が必要ではないか。高齢者は、スマートフォンの使い方を知らない方が多いため、携帯会社が携帯を購入する客にアプリを勧め、希望する客にアプリをインストールしてあげることにより、アプリを広く推奨できるのではないか。

(生活安全課長)

そのとおりである。携帯会社への要請を検討する。

(委員)

ニセ警察詐欺は、私自身も被害に遭ってしまうのではないかと感じた。諮問事項の説明は、SNSでの被害状況であったが、電話によるニセ警察官騙りの詐欺被害はあるのか。私が居住している地域は田舎なため、警察と言われるとすぐに信じてしまう住民が多い。交番の広報誌にも掲載されてはいるが、ニセ警察詐欺被害防止を広報するパンフレットはあるのか。

(生活安全課長)

電話によるニセ警察詐欺被害も多数ある。相手が〇〇警察署の●●と名乗れば、一旦電話を切断し、〇〇警察署に架電の上、●●が実在し、本当に電話をしたのか確認して欲しい。

ニセ警察詐欺のパンフレットはある。配布して広報している。

(委員)

各駐交番の方が各家庭を訪問されるが、その際に警察庁推奨アプリを勧奨していただきたい。私は、月に1回高齢者サロンを開催しているが、参加者には、知らない番号、登録をしていない番号からの電話には出ない、また、仮に電話に出たとしても、分からないことは切断して、家族や近所の方に相談するようにお願いしている。

(生活安全課長)

各家庭を訪問する巡回連絡の際には、警察庁推奨アプリを勧奨するとともにインストールの仕方が分からない方にはインストールを補助するよう指示している。

またサロンに警察官が参加し、特殊詐欺被害防止広報をすることもできるので、ぜひ警察官の派遣要請をして欲しい。

(委員)

特殊詐欺の犯人は、あの手この手と駆使し、現金を詐取しようと企てている。これを防ぐには、やれることをやっていくしかないのかなと思っている。警察も犯人への対応策を講じているが、民生委員も高齢者に対する詐欺防止対策を講じている。また市役所担当課も各地域を訪問し、高齢者に対し出前講座を行うなど対策を講じている。特殊詐欺被害は、高齢者だけでなく若者も被害に遭っていることから、中学生・高校生・大学生への被害防止対策も必要ではないか。しっかりネットワークを張り巡らせて網の目を広げていけば、どこかの網に引っ掛かり詐欺被害防止に繋がるのではないか。

(生活安全課長)

ネットワークは非常に大事である。詐欺被害を防止するため、いろいろなネットワークを紹介していただきたい。

(委員)

私は、すでに警察庁推奨アプリをインストールしており、最近+から始まる着信を2件防止するなど、非常に役立つアプリだと感心しているので、ぜひみなさんもインストールしていただきたい。詐欺被害防止は、高齢者が多数参加するゲートボール大会等に警察が赴き、詐欺被害防止広報をしたらいかがか。また商店街で開催されている土曜夜店において、若者等に詐欺被害防止広報をしたらいかがか。さらには、最近の若者は、ほとんどスマートフォンを所有していることから、教育委員会を通じ、各学校に赴いて詐欺被害防止広報をしたらいかがか。

(生活安全課長)

詐欺被害防止広報は、あらゆる機会に行うこととしているので、ゲートボール大会等の開催の際には、警察に広報依頼をしていただきたい。また、中学生・高校生・大学生に対しても、情報モラル教室等を開催し、インターネットの使い方に関する講習をしているので、その際に詐欺被害防止講習も検討したい。

(委員)

私が協議会委員になった頃は、オレオレ詐欺被害が多く、犯人が固定電話に電話を掛けるため、高齢者が被害者になることが多かった。しかし現在ではスマートフォンの普及により被害者の低年齢化が進んでいる。最近の若者は、あまりテレビを見ないことから、ニュースで放映されている詐欺の手口情報を知らないのではないかな。

(生活安全課長)

確かに最近の若者はテレビを見ず、スマートフォンでInstagramやYouTubeを見ることが多い。よってSNSによる情報発信が大事であるが、これは登録してもらわないと視聴していただけないので、登録してもらえるように努めていく。

(委員)

老人クラブの総会で、警察官に講演を依頼すると以前は交通事故防止が多かったが、今では特殊詐欺被害防止へと変化している。本日の諮問事項の説明は、パワーポイントや動画を活用され、非常に分かりやすかったので、老人クラブの総会でも今回のような映像を活用した講演を行って欲しい。また同世代の方が特殊詐欺の電話が架かってきたと相談に来られたが、犯人は不安を煽るような話をしたようで、老人クラブで講習を受けていても実際に電話が架かると不安になるものだと感じた。警察は、犯人の電話を逆探知できるようにすればどうか。

(生活安全課長)

動画による広報を継続して実践していきたい。被害者へのアンケートを実施しているが、「手口を知っていたが犯人と話すと不安を煽られて騙された」という回答もある。よって電話に出ないことが重要であるので、ぜひ電話に出ないためにも警察庁推奨アプリを活用して欲しい。

(委員)

私の子供は中学生でスマートフォンを持たせている。登録していない番号には出ないように、またInstagramをしたいと言うので登録だけさせて、投稿はしないよう注意するなどスマートフォンによる被害には気を付けている。

詐欺電話を撃退する良いアプリがあっても高齢者はスマートフォンの使用方法が分からず登録できない、またそもそもアプリを知らない人もいることから、携帯電話会社と協力してもらい、アプリのインストールをしていただくことや詐欺被害防止アプリのチラシを店頭においていただく事も重要ではないか。また、チラシを多

くの人が目につく場所に置いてもらったらいかがか。本日、詐欺被害防止推奨アプリを推奨されたことから子供と一緒にインストールしようと思っているし、子供の友達にも推奨しようと思う。

(生活安全課長)

市報を活用するなど、あらゆる媒体を通じた広報を検討している。

6 次回の開催予定

令和8年度第2回萩警察署協議会は、概ね令和8年10月下旬の開催予定とした。